

**県教委 体罰の有無把握 アンケート実施へ****■公立小中高の児童・生徒、保護者、教職員に**

大阪市立桜宮高校の体罰問題を受け、県教委は13日、公立の小中学校や高校などの全児童・生徒約13万6千人のほか、保護者や教職員を対象に、体罰の有無を把握するアンケートを実施すると発表した。アンケートで体罰事案が確認された場合、各校で児童・生徒や教職員に対する聞き取り調査もする。調査結果は3月25日までに県教委に報告する。



アンケートは、文部科学省の調査要請を受けて実施する。県教委は13日付で、各市町村教委にアンケート様式などをメールで通知した。

アンケートは記名式で、体罰の有無や、体罰のあった日時・場所、該当する教諭の名前や内容、傷の程度などを記入できる。

小学生向けなどのアンケート様式には、体罰について「先生から注意を受けてなぐられたり、けられたりしたことはありますか」と尋ねている。

アンケートは、今年度の学校生活での体罰の有無の把握が目的。昨年度以前の体罰事案や、同級生など本人以外の児童・生徒への体罰情報は、自由記述欄に記入できる。

記名式としたことについて、県教委は「体罰が確認された場合、懲戒処分をしなければならず、児童・生徒からの聞き取り調査が欠かせないため」と説明している。

集計前のアンケートは原則、各校の校長と教頭以外は閲覧できないようにし、児童・生徒のプライバシーに配慮した。

県教委は「体罰が社会問題化している中、学校側が体罰を隠すようなことがあってはならない」としている。アンケート結果は、文部科学省に報告する4月末をめどに公表される。